※令和４年度以降入学生用

学校番号	１１０

令和８年度　芸能文化科

教科	芸能文化	科目	創作実習（ドラマ）	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

様々なミーティングを通じて各自の役割を理解し、また協力することによって作品を仕上げる大切さを学ぶ。ドラマ制作はその営みを総合的に体験する絶好の機会であることを体験してほしい。

2　学習の到達目標

（１）　講師の指導のもと、映像作品作りに必要な企画書の立案や台本の書き方、収録方法など基礎的な技能を身につけることをめざす。

（２）　自主制作ドラマの制作のなかで、様々な役割を理解し、判断して作品づくりを行うかを実践を通じて探求することをめざす。

（３）　身につけた力を活用し、他の映像作品の鑑賞などを積極的に行うことで、様々な変化に対応できる力の習得をめざす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ドラマ制作する際に必要な知識･技能を学び､日ごろテレビなどで目にするものがどのように作られるかを実習を通して習得する。	どのように撮影したり編集したりすると効果的に作品の持つテーマを伝えることができるかを考え、チームで話し合い、計画を立てる力を養う	撮影を通して様々な役割を理解し、他者と協力する力を身に着けることで人間性の向上を目指し、粘り強く学ぶという力を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	制作基礎	テレビドラマの制作プロセスについて	a: 制作について基本的な理論および専門用語などを理解しているか。 b: 制作の基本を理解した上で、創作作品を作ることができる。 c: 自ら進んで様々な作品の手法を探求しようと努力しているか。	筆記テスト	筆記テスト 授業観察	授業観察
	撮影基礎	テレビドラマの制作必要な技術	a: 撮影基礎について基本的な理論および専門用語などを理解しているか。 b: 撮影基礎の基本を理解した上で、機材を適切に扱うことができる。 c: 自ら進んで様々な状況で撮影方法を探求しようと努力しているか。	筆記テスト	筆記テスト 授業観察	授業観察
後期	素材収録	収録の様々	a: 撮影基礎について基本的な理論および専門用語などを理解しているか。 b: 作品の素材として適切かを判断できる。 c: 自ら進んで様々な状況で撮影方法を探求しようと努力しているか。	筆記テスト	授業観察	授業観察
	編集	編集および広報の様々	a: 編集基礎について基本的な理論および専門用語などを理解しているか。 b: 編集方法として適切かを判断できる。 c: 自ら進んで様々な状況で編集方法を探求しようと努力しているか。	筆記テスト	課題レポート 授業観察	授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度